

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	生体電子工学特論		
英文授業科目名	Advanced Bioelectronics Engineering		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-電子工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	電子工学専攻		
担当教官名	内田 雅文		
居室	西8-805		

公開E-Mail	授業関連Webページ
uchi@ee.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
これまで学んできた電子工学の知識・方法論を生体情報の計測・処理・制御へ応用するための基礎技術を身につける。

【前もって履修しておくべき科目】

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
適宜、プリントを配布する。

【授業内容とその進め方】
<p>生体電子工学は、医用工学、生体工学のいずれにおいても重要な役割を果たす1分野であり、主として生体情報の計測、処理、制御を扱う分野といえる。この分野はサイバネティクスの観点でとらえるか、医療計測の観点でとらえるかによって、興味となる対象やそこで用いられる方法論が異なることもある。この講義では、それらの基本的事項について解説する。</p> <p>第1章 生体情報の計測・処理・制御の概要 第4章 受容器と感覚情報 第2章 生体情報の計測技術 第5章 触覚 第3章 生体電気現象 第6章 感覚代行</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法および評価基準】
5 通のレポートを課し、その内容をもとに評価する。

【オフィスアワー：授業相談】
授業開始前 1 時間。

【学生へのメッセージ】